



## 香り・味提示のこれから：予想と期待

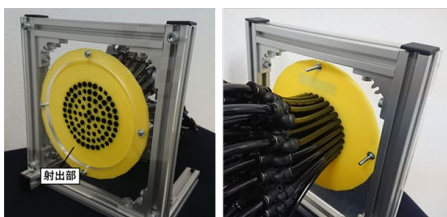
### Future of Aroma/Taste Presentation: Forecasts and Expectations

谷川智洋<sup>1)</sup>, 松倉悠<sup>2)</sup>, 和田有史<sup>3)</sup>, 宮下芳明<sup>4)</sup>, 春原吉美<sup>5)</sup>, 新島有信<sup>6)</sup>, 中野萌士<sup>1)</sup>, 高野詩菜<sup>6)</sup>  
Tomohiro TANIKAWA, Haruka MATSUKURA, Yuji WADA, Homei MIYASHITA, Yoshimi SUNOHARA,  
Arinobu NIIJIMA, Kizashi NAKANO, and Shiina TAKANO

- 1) 東京大学 情報理工学系研究科 (〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1, tani,kizashi@cyber.t.u-tokyo.ac.jp)
- 2) 電気通信大学 情報理工学研究科 (〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1, matsukura@uec.ac.jp)
- 3) 立命館大学 食マネジメント学部 (〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1, yujiwd@fc.ritsumei.ac.jp)
- 4) 明治大学 総合数理学部 (〒164-8525 東京都中野区中野 4-21-1, homei@homei.com)
- 5) ドリームフレグランス株式会社 (〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通 5-8-4, df-inf@dream-fragrance.com)
- 6) 日本電信電話株式会社 (〒239-0847 神奈川県横須賀市光の丘 1-1, arinobu.niijima, shiina.takano@ntt.com)

**概要：**香りまたは味を提示する装置や技術の実用化が徐々に進みつつありますが、一般にはまだまだ身近な存在とは言えません。これからの香り・味提示はどうなるのでしょうか？また、どうあるべきでしょうか？本 OS 企画では、当該研究分野でアクティブに活動を行う様々な年代の研究者や技術者を 6 名ほどお招きし、それぞれ思い描く香り・味提示に関する予測や期待について 10 分程度ご講演頂きます。最後には、聴衆の方も含めて香り・味提示の未来について自由に討論を行い、香り・味提示の進むべき道筋や新たな可能性を探ることを目指します。

**キーワード：**嗅覚提示, 味覚提示, 生体情報



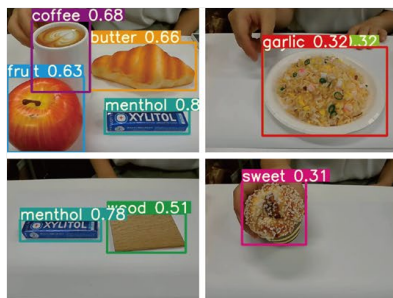
クラスター型デジタル空気砲



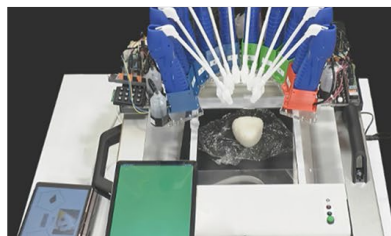
キリンから発売予定の電気味覚食器エレキソルト



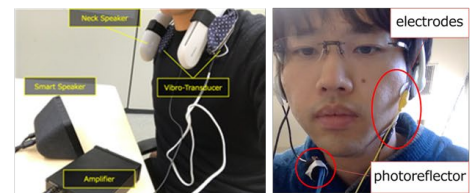
クロスモーダル効果を用いた味覚ディスプレイ



香り関連物体の検出例



可食インクプリントと組み合わせた調味家電TTTV2



食感ディスプレイ